

中小都市上下水道整備事業



本事業により設置された貯水タンク

[借款概要]

承諾額/実行額	1,210百万円 / 1,191百万円
借款契約調印	1993年3月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2000年12月

[事業概要]

上下水道公社(ANDA)の管轄である、人口3万人以下の130地区において上下水道設備の修復・改善を行うとともに、同公社の組織強化を行い、上下水道サービスの改善を図るもの。

[評価結果]

本事業は、米州開発銀行との協調融資による支援であり、119ヶ所において、35の深井戸建設、組織強化・衛生教育、ANDAの組織強化、セクター近代化支援、運営管理機器の設置が行われた。内戦後の混乱の収束に時間がかかったこと、井戸建設計画の再調整、内貨不足、協調融資の手続き等が原因で、事業実施は約4年遅延した。

都市部(中小都市を含む)で上水道に接続している世帯数は1995年から1999年で67.2%から71.6%へ増加した。また、円借款対象の東部4県では、同時期、安全な水へアクセスのある人口比率・一人あたりの消費水量共に増加した。受益者調査では48%の回答者が衛生環境・公衆衛生などが改善されたとしている。

なお本事業は、内戦後の緊急支援として実施されたため、より緊急性の高かった上水施設設置が優先された。結果的に、十分な下水処理施設設置が行われず、汚水が河川に排出されるケースがあった。現在、同国では上下水道事業の地方委譲、民間委託等の改革が進められており、より効率的な運営が求められる。